

<p>科目名：歯科保健指導論Ⅰ</p>	<p>必</p>	<p>2 単位</p>
<p>(Oral Health Guidance TheoryⅠ) 履修年次/時期：1 年次 後期 授業形態：講義・実習 担当教員：田島小百合（実務経験有）、伊ヶ崎理佳（実務経験有）、井出桃（実務経験有）</p>		
<p>学修目的</p>	<p>多様な生活習慣、生活環境、健康状態にある人々に、専門的立場から口腔の健康維持・増進についての助言と支援を行うために必要な能力を養う。 DP 1, 2, 3 CP1, 2, 3, 4, 5 に関連する。 科目 No.S1C11H24</p>	
<p>到達目標</p>	<p>① 歯科保健指導の意義と目標を説明できる。 ② 歯科衛生過程の進め方を理解する。 ③ 歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報整理を理解する。 医療面接の目的を理解する。 口腔清掃や歯周疾患の指数を説明できる。 ④ 歯科衛生介入のための歯科保健指導を理解する。 口腔衛生管理の意義・目的を理解する。 歯ブラシの種類と特徴を説明できる。 各種ブラッシング方法を実施できる。 歯磨剤と洗口剤について説明できる。 フッ化物配合歯磨剤の特徴と使用方法を説明できる。 補助的清掃用具の種類と特徴、適応および使用方法を理解する。 ⑤ 口腔の健康維持のための基本的知識や技術を修得し、対象者ごとの口腔に応用できるスキルを身に付ける。 ⑥ コミュニケーションの概要を理解し、歯科保健指導を行う上で必要な対応法を修得する。</p>	
<p>授業概要</p>	<p>個人を対象とした歯科保健指導を実践できるようになるための基礎知識・技術を学び、演習（グループワーク、ロールプレイ）を通して個々の対象に合った指導ができる能力を修得する。</p>	
<p>評価方法</p>	<p>本試験（80%）、実習点（課題提出・小テスト・ループリック20%）の総合評価 試験に対するフィードバックは掲示で行う。</p>	
<p>予習・ 復習時間</p>	<p>【予習】0.7 時間 【復習】0.7 時間</p>	
<p>教科書</p>	<p>『歯科予防処置論・歯科保健指導論 第2版』 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版</p>	
<p>参考書</p>	<p>『歯科衛生学総論』 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版 『保健生態学 第3版』 全国歯科衛生士教育協議会編 医歯薬出版 『口腔衛生学』 荒川浩久ほか 学研書院</p>	
<p>オフィス- 連絡先</p>	<p>田 島 月～金（16:40～17:00） tashima@kdu.ac.jp 3号館2階研究室 不在時はメールでお願いします。 伊ヶ崎 火～木（16:40～17:00） ikazaki@kdu.ac.jp 3号館2階研究室 不在時はメールでお願いします。 井 出 月～木（16:40～17:00） ide@kdu.ac.jp 3号館2階研究室 不在時はメールでお願いします。</p>	